

シグマ委員会
元年度第7回運営委員会議事録（案）

日 時： 1990年2月16日（金） 13:30～17:00
場 所： 幸ビル 第1304会議室
出席者： 石井（委員長、原研）、瑞慶覧（日立）、五十嵐（NEDAC）、吉田（東芝）、
若林（動燃）、金子、菊池、水本、長谷川（原研）
幹事 : 中島、中川（原研）
オブザーバー：大澤（近大）、喜多尾（放医研）

配布資料

1. 元年度第6回運営委員会議事録（案）とアクションリスト
2. 原子力学会1990年年会総合報告と（核データ・炉物理）合同特別会合
3. 1990年度委員の変更
4. 核データ評価国際協力に関する菊池氏から Dunford 氏への手紙
5. 神田氏からサブグループメンバーへの手紙
6. NEA会合報告
7. データブック（JAERI-Mレポート）案
8. ENDF/B-VI公開に関する Dunford 氏からの手紙
9. 第32回NEACRP会合報告
10. PKAスペクトルSWG活動状況
11. 核種生成量評価WGの活動報告
12. 炉定数専門部会SWGリーダー会合議事録
13. 核データ専門部会理論計算コードSWGの活動および今後の計画
14. FP核データSWG活動報告
15. 核構造データ評価グループ活動報告

議 事

1. 前回議事録確認
前回12月22日の議事録（配布資料1）を確認した。
2. 事務局報告
 - 1) 原子力学会1990年年会における総合報告と特別会合について
総合報告「JENDL-3の完成」と（核データ・炉物理）合同特別会合について
配布資料2の通り決定したことを中川氏が報告した。しかし、特別会合の方は、講演
予定の飯島俊吾氏（東芝）の都合で、内容変更が必要となったため、議題8で討議し
た。

2) 委員の交替について (配布資料3)

波戸芳仁氏 (船研) が新たに専門委員となることを中島氏が報告した。
Fusion Neutronics 積分テストSWGのメンバーについては次回に報告することとした。

3) NEANDC/NEACRP核データ評価国際協力の進捗状況

菊池氏が、配布資料4と5の通り、 ^{238}U の捕獲断面積と非弾性散乱断面積SGがスタートしたことを報告した。

4) NEAデータバンクの将来計画検討WG

昨年12月12、13日にパリで行われた標記会合について、配布資料6に基づき中川氏が報告した。

5) データブック作成の進捗状況

配布資料7 (JAERI-MLレポートに載せる予定の図・表) を中川氏が説明した。
これに対して、平均断面積の表が非常に見づらいので、全体で2分冊にすることを含めて再検討する必要があると指摘された。

6) ENDF/B-VIについて

ENDF/B-VIが公開されたこと (配布資料8) を菊池氏が報告した。

リリースの件はH4

7) その他

「1989年核データ研究会」の報文集を1月末に投稿したこと、およびWGの開催回数を調整した結果今年度の旅費で間に合うことになったことを中島氏が報告した。

3. NEACRP報告

配布資料9により、昨年10月9日~13日、米国ANLで開かれたNEACRPの様子を金子氏が報告した。

4. ORNLの Delayed Neutron データについて

原研FCAとORNLのオメガ計画関連の協力協定によりORNLで測定したdelayed neutron データが入手できることになった。データの使い方はCGで検討したいと菊池氏が報告した。

5. ワーキンググループの今年度活動報告と来年度計画について

1) 理論計算コードSWG

配布資料13を大澤氏が説明した。

2) FP核データSWG

配布資料14を中川氏が説明した。

3) PKAスペクトルSWG

配布資料10を喜多尾氏が説明した。

4) 核種生成量評価WG

配布資料11を吉田氏が説明した。

5) 核構造データ評価グループ

配布資料15を喜多尾氏が説明した。

6. 来年度の体制について

1) 核データ専門部会

来年度は今年度の体制を大きく変えることはない。来年度に入ってからグループリーダー会合を開き、活動予定を議論する予定であることを水本氏が報告した。

Fusion Neutronics 積分テストSWGから指摘された ^{14}N 等の問題は、核データ専門部会の核融合核データWGで検討すること、放射化断面積SWGとPKAスペクトルSWGをWGとすることを菊池氏が提案した。

2) 炉定数専門部会

長谷川氏がグループリーダー会合(2月5日)の議事録(配布資料12)を基に、来年度のSWG体制、今年度の成果、来年度作業予定を説明した。各SWGから出たメンバーの人事については来年度途中で対処することとした。

3) 核構造・崩壊データ専門部会

来年度は今年度と同じ体制で行くことを吉田氏が報告した。

7. 原子力学会企画委員とプログラム編成委員について

現在の企画委員(中川氏)とプログラム編成委員(馬場氏)が今年度で任期満了となるので、次期企画委員として北沢氏(東工大)、プログラム編成委員として中島氏(原研)を推薦することを決定した。

8. 原子力学会(核データ・炉物理)合同特別会合のテーマについて

合同特別会合のテーマを再検討した結果、次の通り変更することを決めた。

1. 原子炉崩壊熱の推奨値(15分)

2. 第2回先端技術シンポジウム報告(15分)

3. JENDL-3以後の核データ活動(パネル討論)(60分)

パネリストは事務局で決める。

9. その他

次回は4月13日（金）に行い、松延氏、飯島氏にオブザーバーとして出席してもらうこととした。

Action List

No.	担当者	内 容	期 限
1	事務局 長谷川	Fusion Neutronics 積分テストのメンバーを確定する。	次回